

第 50 号

砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行（令和 7 年 6 月）

～ 河川砂防課長 挨拶 ～

昨年度に引き続き河川砂防課長を務めることになりました今井です。

令和 6 年に発生した災害を振り返りますと、前線や台風などの影響による被災は少ない年でしたが、7 月の梅雨前線による影響で秋田・山形県境付近で甚大な被害が発生しました。

また、全国各地においても土砂災害が頻発しましたが、砂防関係施設の整備により、被害を免れた事例も報告されており、自然災害の脅威に対しては、防災・減災インフラの整備が極めて重要だと感じています。

近年は東北地方において梅雨前線が停滞する傾向であり、国土交通省へ要望活動に伺った際、幹部の方々から「東北地方が危なくなってきているね」と話され、青森県においても、3 年前の大雨災害がまた発生してもおかしくないと思われます。

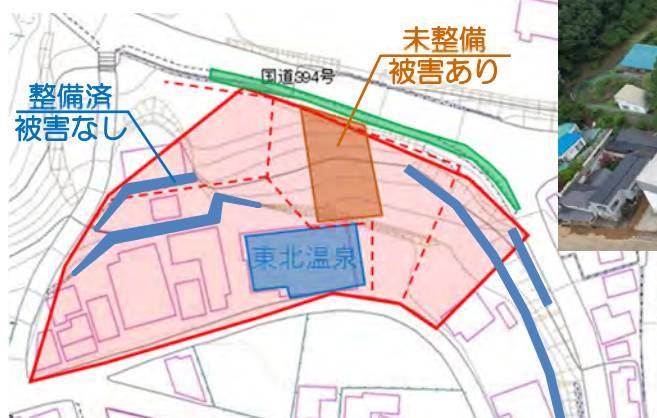
砂防事業に関する災害では、令和 6 年 8 月 4 日に東北町で時間雨量 20 ミリ以上が 2 時間続き、東北町にある温泉施設の裏斜面が崩壊し、土砂が施設へ流入した影響で入浴中の利用者 1 名がガラスの破片でケガをし、休業せざるを得ない事態が発生しました。

この区域では、一連の斜面で擁壁工を整備しておりましたが、未整備箇所でがけ崩れが発生し、施設が被災してしまったため、事前防災対策の重要性を強く認識したところです。



河川砂防課長
いまい ひろゆき
今井 博之

○塔ノ沢山区域における土砂災害



- 擁壁工
- 法面崩壊箇所
- 急傾斜地崩壊危険区域

青森県では、令和 6 年に「新たな土砂災害が発生するおそれのある箇所」として、今回崩落した箇所を含め、県全体で約 3 千箇所をホームページで公表しています。令和 7 年度から概ね 6 年で基礎調査を実施し、要件を満たす場合は、順次、土砂災害警戒区域等に指定する方針であり、関係職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

岩木山百沢土石流災害から 50 年の節目を迎えて

百沢地域は、重要文化財である岩木山神社や、百沢温泉郷、岩木山百沢スキー場などがある風光明媚な観光地です。今から 50 年前、その地が突然災害に見舞われました。

岩木山は津軽平野の南西縁に位置する孤立峰で、標高 1,624m の複式成層火山です。昭和 50 年 8 月 5 日から 7 日にかけての東北地方の大雨により、岩木山南麓 6 溪流で土石流が発生し、特に蔵助沢で発生した土石流は、大きな被害をもたらしました。

蔵助沢では、山頂近くの鳥ノ海火口の山腹に新生崩壊（標高 1,460m 付近）があったため、このあたりから連鎖的に崩壊し、土石流が発生したと考えられています。

蔵助沢には当時 1 基の堰堤と 2 基の床固工が設置されていました。土石流は、谷を流下して堰堤に至り、堰堤の片袖部を破壊しました。続いて床固工の両袖と本体一部を破壊しスキー場に至りました。地形的制約により流路の拡散や集合が発生しました。スキー場を通過した土石流は、下流の床固工の両袖部を破壊し、岩木山神社の横を通過、県道「弘前岳鰐ヶ沢線」を越え、さらに 1,000m 下流まで流れ、堆積しました。

この土石流災害により、百沢集落では、死者 22 名、重軽傷者 45 名、住宅全壊 17 棟、住宅半壊 12 棟、床上浸水 87 棟、床下浸水 66 棟となり、蔵助沢に関する災害復旧事業費が約 22 億円にものぼる、大きな被害を受けることとなりました。



写真 岩木山百沢地区の状況
(昭和 50 年 8 月 6 日時点)



写真 岩木山百沢地区の状況
(平成 24 年時点)



写真 蔵助沢災害復旧事業による整備（左：着工前 右：完成）

災害を風化させないために

岩木山百沢土石流災害を契機に、毎年８月６日、犠牲者をしのぶ慰霊祭が、弘前市百沢の示現堂で行われています。

示現堂は、地元住民らが犠牲者の霊を慰めるため、三回忌の際に建立されました。

慰霊祭は、百沢町会役員で構成する示現堂管理委員会が開いており、遺族や町会役員らが参列し、玉串をささげて犠牲者をしのびます。

青森県砂防ボランティア協会では、毎年慰霊祭前の７月下旬に蔵助沢砂防公園清掃と砂防関係施設施設点検を実施しており、県もこの活動に参加しています。



写真 示現堂



写真 蔵助沢砂防公園の清掃状況

土砂災害への備え

県では、降雨などにより土砂災害が発生しやすくなっている場所をリアルタイムに地図上で確認できる「土砂災害警戒情報システム」や、土砂災害の危険性が高い区域を示す「土砂災害警戒区域等マップ」により、大雨時などで住民が避難の判断をするために必要な情報を提供しています。

日頃から、避難場所、災害情報を確認し、安全を確保するための行動をとりましょう。

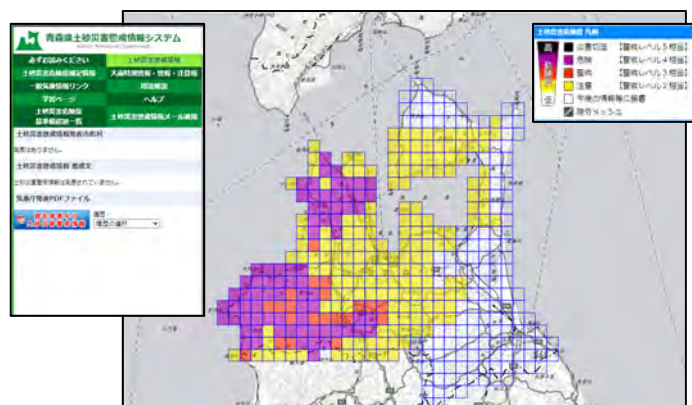


図 土砂災害警戒情報システム

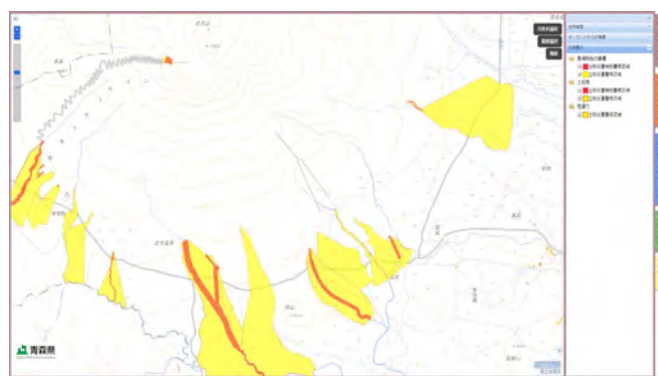


図 青森県土砂災害警戒区域等マップ

☆令和7年度 青森県河川砂防系職員 期待のニューフェイス☆

河川砂防課 企画防災グループ おがさわら 小笠原  東北地方整備局から出向で参りました。仕事からプライベートまでなんでも話しかけていただければ嬉しいです。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。	河川砂防課 河川海岸グループ たなぶ 田名部  2年間の任期を終え、無事青森県に戻ることができました。システム等が変更されていて戸惑うこともあります。一日でも早く仕事に慣れていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
東青県土整備事務所 じん 神  まだまだ分からないことばかりですが、先輩方から多くを学びながら、前向きに仕事に取り組み、少しでも早く職場に貢献できるように努力します。よろしくお願い致します。	三八県土整備事務所 のむら 野村  以前までは分からなかったことも、多くの人の助けがあって、少しずつできるようになっている実感があります。これから多くのことを学び続けて、成長していきます。
上北県土整備事務所 きたざわ 北澤  現在担当している業務でまだ分からないことが多いですが、頼れる上司の皆様からわからないことを学び、県民を災害から守れるよう職員の皆様と協力して頑張りたいと思います。	下北県土整備事務所 よしかわ 由川  明るい職場で楽しく仕事させていただいています。至らぬ点が多いですが先輩方からの助言を聞き、県民の方々が安心して生活できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します！

りんご娘のみんなでやろう！流域治水！

【動画の紹介】

- ・メインキャストにご当地アイドル『りんご娘』
- ・りんご娘が流域治水を学んでいく分かりやすいストーリー
- ・家庭でもできる流域治水の取組も紹介 など



（青森県県土整備部
公式 youtube チャンネル）



編集後記

近年、自然災害は激甚化してきており、青森県では、岩木山百沢土石流災害から50年の節目を迎え、一同、身が引き締まる思いです。6名のニューフェイスたちも、これから青森県を支える立派な職員となってくれることでしょう。

この砂防トピックスについて、お気づきの点やご意見・ご要望等ございましたら、お気軽に青森県河川砂防課砂防グループまで、情報をお寄せください。

土砂災害に関するお問い合わせ先

青森県河川砂防課 017-734-9670
 東青県土整備事務所 017-728-0200
 中南県土整備事務所 0172-34-1283
 三八県土整備事務所 0178-27-5151

西北県土整備事務所 0173-35-2105
 上北県土整備事務所 0176-23-4311
 下北県土整備事務所 0175-22-1231
 鰯ヶ沢道路河川事業所 0173-72-3135

（または、お住まいの市町村の防災・建設担当課まで）

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島 1-1-1 担当：砂防グループ TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ：https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/

e-mail：kasensabo@pref.aomori.lg.jp